

健康保険療養費支給申請書 (〇〇年〇〇月分)

はり・きゅう用

被保険者が記入するところ (この欄の訂正は被保険者の直筆で訂正)	健康保険の記号・番号	記号 — 番号	事業所名称	勤務先の名称をご記入ください		
	被保険者の氏名	フリガナ 被保険者の氏名をご記入ください	生年月日	昭和 平成 令和	〇〇年	〇〇月 〇〇日
	被保険者以外で療養を受けた者の氏名等	氏名	生年月日	被保険者との続柄		
		フリガナ 療養を受けた方が被扶養者の場合、被扶養者の氏名をご記入ください	昭和 平成 令和	〇〇年	〇〇月 〇〇日	〇〇
	被保険者の住所	被保険者の住所と連絡先をご記入ください			TEL	— —
	被保険者のマイナンバー記載欄 (健康保険の記号番号を記入した場合は不要です)					
	傷病名	〇〇〇〇〇〇	発病又は負傷の年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
発病又は負傷の原因と経過	発症原因は必ずご記入ください		業務上・外、第三者行為(交通事故含む)によるものでないか 1. 業務上 2. 第三者行為(交通事故含む) 3. しんえ			

※被保険者名義のもの(受領委任する場合は代理人名義のもの)を記入してください。

療養費を受け取る金融機関					
公金受取口座	<input type="checkbox"/> マイナポータル等で事前登録した公金受取口座を利用します。 (利用する場合は☑、利用しない場合や被保険者名義以外の口座を利用する場合は下記の欄に記入してください)				
公金受取口座を利用される場合は☑を、利用しない場合や被保険者名義以外の口座を利用する場合は、口座情報をご記入ください			(支)店出張所営業部	普通	・
口座番号	口座名義		(行)を記入)		

いずれかに○をつけてください

※療養費の受け取りを代理人に委任する場合のみ記入してください。

受取代理人の欄	本請求に基づく給付金の受領に関する権限を代理人に委任します。		代理人氏名
	令和 年 月 日	被保険者氏名(自署)	
	代理人の住所・電話番号		被保険者との関係
〒 —		TEL — —	

鍼灸師が記入するところ (この欄の訂正は鍼灸師の直筆で訂正)	初療年月日	施術期間	実日数	請求区分
	年 月 日	(自) 年 月 日~(至) 年 月 日	日	新規・継続
	傷病名	1. 神経痛 2. リウマチ 3. 頸腕症候群 4. 五十肩 5. 腰痛症 6. 頸椎捻挫後遺症 7. その他()		転帰
	初検料	1. はり 2. きゅう 3. はりきゅう併用	円	継続・治癒・中止・転医
	施術料	はり	円× 回= 円	備考
		きゅう	円× 回= 円	
	はり・きゅう併用	この欄は鍼灸師に証明を依頼してください		
	電療料 1. 電気針			
	往療料			
	加算()			
費用額計			円	
施術日 通院○ 往療◎	月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		
上記のとおり施術を行い、その費用を領収しました。	保健所登録区分	1. 施術所所在地 2. 出張専門施術者住所地		
施術証明 免許登録番号 免許登録番号	はり師 きゅう師	住所 氏名	TEL — —	
同意医師の氏名	住所	同意年月日	傷病名 要加療期間	
同意記録		年 月 日		

※裏面の申請上の注意を参考にご記入ください

《申請上の注意》

1. 施術日ごとの領収書をもらい、必ず領収書原本をまとめて添付し、1ヶ月単位（暦月）で申請してください。
2. 領収書は施術日ごとに、施術を受けた方の氏名（フルネーム）、領収日、施術者の押印があるものに限りです。
3. 初療月を申請される場合は、医師の同意書（原本）を必ず添付してください。
4. 初療日から3ヶ月を経過した時点における同意書については、実際に医師から同意を得ていれば添付の必要はありませんが、この場合には「同意記録」欄に必ず記入してください。
5. 病院などの医療機関において、同一疾病の治療・施術を受けている期間は、はり・きゅうについて療養費支給申請は行えません。
6. 記載内容を訂正する場合は、訂正印や修正テープ等は使用せず、訂正箇所を二重線で抹消し正しい内容をご記入ください。